

## 市川市とその30%の人々

市川市は民主主義政治が行われていません。市川市では選挙がありますので、議員を選ぶ決定権は20歳以上の全市民にあるとされています。でも、この選挙制度は選挙に行ってくれる30%の人に依存しています。そして、この事實は、政治家がこっそりこの30%の人々寄りになる事に繋がっています。もう少しはっきり言いますと、政治家は巧妙に彼らのご機嫌取りをしています。市川市は市民参加の民主主義のはずですが崩壊しています。結局市川市は、この30%の人次第なのです。その結果、市川市の現職議員の多くは自分の時間の30〜70%をご機嫌取りに費やします。これは政治システム上の腐敗です。今、仮に政治に不満があるとすると、ここに根本の原因があります。そして、皆さんはこの事を知らない訳がないです。でも、無視している。しかし、これ以上無視する訳にはいきません。この政治システムの腐敗をなくさないで、今のままでいい！と思っている人はともかく、まともな改革はできません。どんな社会的問題もこのままでは年内どこか永遠に解決しないです。腐敗をなくさないで、他の社会的問題も解決できません。たくさんある社会的問題の解決は、本当に大切です。でも、腐敗の問題をまずは解決しないとイケない。このまま腐敗が続けば、突拍子もなく聞こえるかも知れませんが、市川市はおしまいです。

ではどうすればいいか。実は単純。「みんなが選挙に行けばいい」だけです。…でも、言うのは簡単ですけど、実現するのは少し大変そうです。しかし、これで本当の市川市を取り戻せます。そんな市川市は、多くの人が「今の政治に不満！」という現状とは別の、少しだけ良くなっている社会です。これが私が実現したい社会です。…この切り口でもう少し、解決へ向けたほんの小さな1歩の取り組みをお伝えしたいのですが、紙面の都合もありますので、vol.51にて別のテーマで改めて述べます。是非、みなさんで「今後も住み続けてみたい市川市」を思い描き、話し合ってみて下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成26年10月22日

増田好秀